

【取組内容①】 協働的な学びの中で、より多くの気づきを得るためのJamboardの活用

4年生 国語科「パンフレットを読もう」（光村図書）

使用アプリ：Jamboard

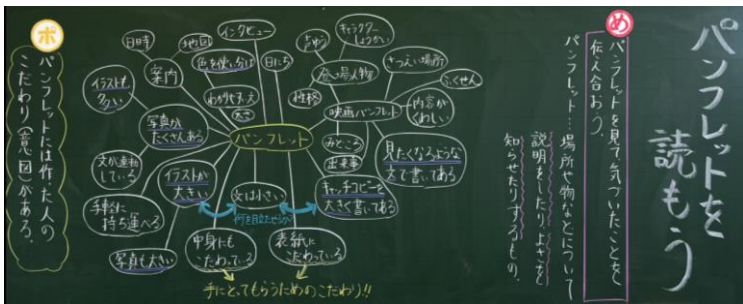
【活動内容】



気づいたことを書き出して話し合ったり、考えを広げたりするときにJamboardを活用することはとても効果的です。学校全体でも、Jamboardの良さを感じており、各教員が学年の実態に合わせて積極的に活用しているところです。

ここでは、4年生の国語科を例に、具体的な活用方法を紹介します。本時のめあてを確認したあと、実際に様々なパンフレットを見たり、読んだりして気づいたことを、Jamboardの共同編集機能を使って、グループで出し合う活動を行いました。

グループでの協働的な学びの時間をどのように使うかは、各グループに任せました。「個人でJamboardに気づいたことを入力していき、それからグループで話し合う」、「グループで気づいたことを話し合いながら、Jamboardに入力していく」など様々でしたが、どのグループもパンフレットの特徴に気づくことができました。その後、各グループの気づきを全体でも共有し、板書に残しておくことで、パンフレットの特徴をまとめました。



ふせんに書いたり、ノートに箇条書きしたりする方法もあります。Jamboardがそれらに勝るよさは、お互いの気づきをリアルタイムで共有できるということです。それは、思考過程でも、より多くの気づきを得ることにつながります。リアルタイムで共有される友達の気づきがきっかけで、新たな気づきが生まれるというプラスの循環が起ころうとよく見えます。

そのようなJamboardを活用するよさを学校のHPでも、校外の先生方に向けて発信しています。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

玉野市立荘内小学校（岡山県）

## 【取組内容①】個別最適な学びの場面での自分にあった学習方法・アプリケーションの選択

4年生 社会科「自然災害から命を守る」「地いきの発てんにつくした人々」  
 使用アプリ：Jamboard、Googleスライド、学習支援ソフト

## 【活動内容】

本校では、できるところから個別最適な学びと協働的な学びの一体化を進めていくことを教員全体で共通理解しています。そこで、最初のステップとして、学習方法の選択をするところを子どもたちに委ねることに取り組んでいます。

4年生の社会科を例に具体的に説明します。すべての授業を個別最適な学びにするのではなく、単元の一部を個別最適な学びにするところからはじめています。「自然災害から命を守る」では、まず全体で「自助・公助・共助」とは何かを確認しました。その後、具体的にそれらにはどのような取り組みがあるのかを調べる活動を行いました。これを個別最適な学びの時間として2時間とりました。

- |        |                                     |    |
|--------|-------------------------------------|----|
| • 学び方  | ：1人、ペア、グループ、わからなくなったら周りの友達に聞きに行く    | など |
| • 調べ方  | ：タブレットで検索（どのサイトを使うか）、パンフレット、本、教科書   | など |
| • まとめ方 | ：紙のノート、Jamboard、Googleスライド、学習支援ソフト  | など |
| • 表現方法 | ：プレゼン、新聞、ポスター、ランキング、ウェビング、ピラミッドチャート | など |



写真からもわかるように、1人で追究している子もいれば、ペアでしている子、グループでしている子もいます。調べ方もタブレットで検索することを選ぶ子もいれば、本や教科書を選ぶ子もいます。まとめ方も、紙かタブレットかということだけではなく、どのアプリを活用するかというところまで子どもたちが選択できるようにしています。自分にあった学習方法を選択しているため、子どもたちはより主体的に学習に取り組み、学びを深めることができます。このように、本校では、学年の実態に合わせながらではありますが、少しずつ子どもたちに選択させていく機会をつくることを、どのクラスでも実践しています。

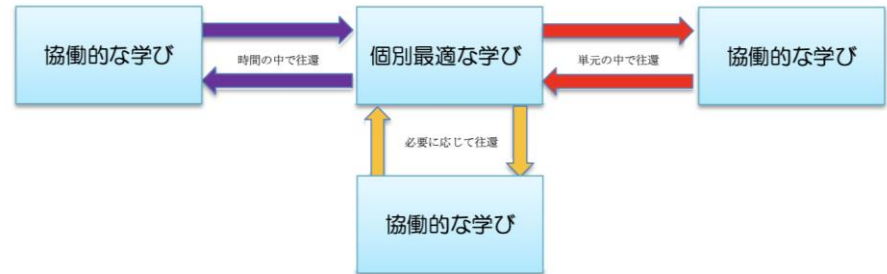
【取組内容①】個別最適な学びの場面での自分にあった学習方法・アプリケーションの選択



本校では、個別最適に学んだことを使って協働的な学びを充実させることも大切に考えています。4年生の社会科「地いきの発てんにつくた人々」を例に具体的に説明します。1・2時は導入や学習計画を立てる場面でした。3・4時（個別最適な学び）では、大原孫三郎に関係のある4つの働きについて追究する時間をとりました。それを、5時（協働的な学び）で全体で共有しました。

さらに、今度は6・7時（個別最適な学び）で、3～5時までの学びを踏まえて、4つの働きをすごいと思う順にランキングする活動を行いました。それを8時（協働的な学び）に全体で共有しました。そして、最終的には、「大原孫三郎の一番すごいところはどこか？」を話し合いました。

個別最適な学びを進める中で、子どもたちは、B-2で紹介したような選択肢の中から、自分に合った方法で情報を得たり、整理・分析したり、表現したりしていました。



子どもたちが自分に合った方法を見つける・選ぶためには、左上の写真のように、子どもたちがそれぞれの方法のメリット・デメリットを知っておく必要もあり、そのようなことを考える時間も確保する必要があります。また、いろいろな考えがあると思いますが、「協働的な学び」には、個別最適に学習を進める中での「協働的な学び」もありますし、単元全体として見たときに、1単位時間の授業すべてが「個別最適な学びの時間」または「協働的な学習の時間」として、単元の中で行き来するようなものもあると思います。個別最適に学んだことを協働的な学びにつなげていくところを今後も大切にしていきたいと本校では考えています。



## 【取組内容⑤】 遠隔通信アプリを活用した他県・他市の小学校との交流

5年生 総合的な学習の時間 「オンラインで静岡県の子とつながろう」  
（やんもの子と荘内っ子の交流会）

使用アプリ：学習支援ソフト、ウェブ会議システム

## 【活動内容】

本校では、ウェブ会議システムを用いて、外部講師の方や他県・他市の小学校などと交流をしています。5年生を例に出すと、総合的な学習の時間で静岡県伊東市立八幡野小学校とオンラインでつながり、交流しました。1回目の交流授業はお互いの学校や住んでいる県・市の紹介をしました。活動を通して、静岡県に興味・関心をもち、社会科「さまざまな土地の暮らし」との関連も図りながら学びを広げていくことができました。さらに、もっとお互いの学校の様子や暮らしについて知りたいと意欲を高めている子どもたちもいました。



2学期に行われた2回目のオンライン交流授業は、各学校の行事の紹介とそこで学んだことの発表でした。各クラスの実行委員を中心に発表内容を考え、練習から本番の発表まで子ども主体の活動となりました。お互いに、行事を通して県や地域の特性を生かした体験活動ができたことを知り、感動の声があがっていました。



交流を重ねるごとに、テーマに沿って子どもが企画・運営をしていく様子が見られ、より主体的な学びになりました。他県の子どものとの交流は、自分の視野を広げるという意味でも、キャリア教育につながります。また、他県の同学年の子どもたちとつながることで興味が広がり、学びが深まりました。自主勉強で静岡県をもっと知りたい、調べたい、の声も聞こえ、自分の学びを広げることができました。3学期には、1年間の総合的な学習の時間での学びを交流する予定です。

【取組内容⑤】 教職員間における情報共有や連絡調整に係る手段としてのGoogle workspaceの活用

校務 Google workspace を活用した校務の効率化

使用アプリ：Google sites、Google classroom、Google chatなど

【Google sitesを活用した教職員用ポータルサイト】



【教職員間での連絡ツール】

（Google classroom）

- ・重要性が高く、記録を残しておくべき内容はGoogle classroomで周知・連絡する。
- ・トピックス分けを徹底することで管理しやすくしている。
- ・Google driveとの連携がシームレスなため、ファイルの共有や共同編集等に活用。

※締め切りのある連絡事項はGoogle スプレッドシートで「締め切り掲示板」を作成し、管理するようにしている。

（Google chat）

- ・重要性が比較的低く、臨時的・即時的な内容の確認、周知、連絡はGoogle chatを活用。
- ・学年団、部会、臨時のプロジェクトごとにスペースを作成し、行事の打合せをしたり、教材研究をしたりしている。

【児童との連絡ツール】

（Google sites）

- ・全校児童用、各学年用、各クラス用、委員会用の部屋を作成することで、教師と児童だけでなく、児童間での情報共有の効率化に繋がっている。
- ・ポータルサイトを見て、連絡帳を書いたり、朝にすることを確認したりすることが朝の習慣になってきているので、学校生活のスムーズなスタートに繋がっている。

【保護者との連絡ツール】

（学習支援ソフトの保護者連絡機能）

- 1 「欠席連絡」機能を活用して、児童の出欠確認をする。
  - 2 「連絡帳」機能を活用して、毎日保護者に連絡帳を配信する。また、学年だより等の学校から配布していたお便りをPDFデータとして配信したり、Googleフォームで作成したアンケートのURLをお知らせしたりする。
- ※電話にて欠席連絡してきた児童に関しては、Googleスプレッドシートで作成した「欠席児童確認表」に入力することで、ポータルサイトで欠席児童について全て管理できるようにしている。

【Google formsを使用したアンケート】

以前は回覧や紙媒体を配布したアンケートだったが、formsにすることで、収集・集計ともに大きく効率化している。

【サイト内での主な使用ツール】

（Google スライド）

ホワイトボードの代わりとして、今日の予定などの大まかな連絡事項を伝えるために活用。

（Google スプレッドシート）

日付や人数等の管理が必要な情報を確認するために活用。

（Google カレンダー）

教職員や高学年児童は予定を確認するために活用している。他のGoogleアプリとの連携がシームレスなため、効率的、効果的に業務や係活動を行うことができる。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

玉野市立荘内小学校（岡山県）

## 【取組内容③】日常的に端末を持ち帰ることで、より効果的に多様な学びへとつなげる。

6年生 家庭学習

使用アプリ：Jamboard、Googleスライド、学習支援ソフト

## 【活動内容】

本校では、どの学年においても端末の持ち帰りをしており、家庭学習に活かしています。また6年生児童は毎日端末を持ち帰り、日常的に端末を活用して家庭学習に取り組んでいます。6年生の実践を例に具体的に説明します。

## 【実践例①】

外国語科  
使用アプリ：デジタル教科書、  
学習支援ソフト



授業中、各自でデジタル教科書を使って、何度も聞いて読む練習をしました。その後、音読を録音したものを学習支援ソフトに提出するタブレット課題を出しました。

## 【実践例②】

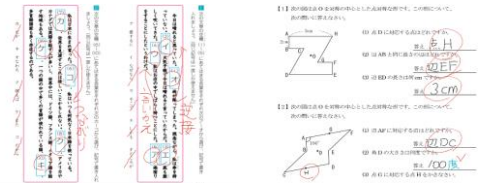
社会科  
使用アプリ：Jamboard



社会科では、家庭学習において授業の先行学習を行っています。Jamboardを活用し、教科書の文章や図、写真、グラフなどから分かったことを学習課題に沿ってまとめています。

## 【実践例③】

算数科、国語科  
使用アプリ：Jamboard



国語科の文章問題や漢字、算数科の計算といった練習問題に取り組んでいます。繰り返し様々な問題に取り組んだり、問題を色分けしながら書き込んだりでき、児童の多様な学びにつながっています。

このほかにも、自主勉強に調べ学習を取り入れたり、総合的な学習のプレゼンをGoogleスライドにまとめたり、学習支援ソフトで新聞にまとめたりするなど、家庭学習の取組の幅を広げることができています。学びの幅が広がり、自ら学習課題について考え、楽しみながら家庭学習ができるようになると考えます。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

玉野市立荘内小学校（岡山県）

## 【取組内容①】 めあて・進捗状況・ふりかえりの共有を目的としたスプレッドシートの活用

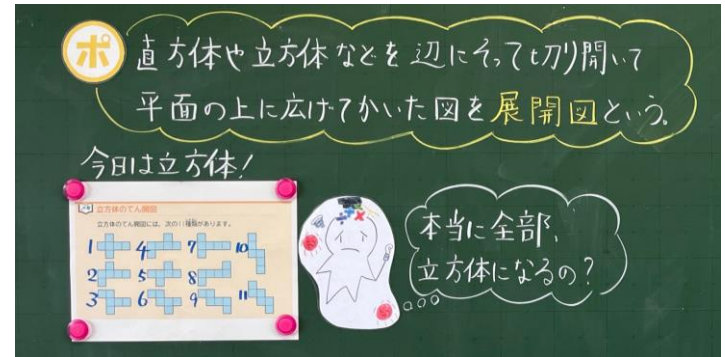
4年生 算数科「直方体と立方体」（啓林館）

使用アプリ：スプレッドシート

## 【活動内容】

本校では、現在、できるところから個別最適な学びと協働的な学びの一体化を進めていくことを教員全体で共通理解しています。それを進める上で、先日、リーディングDXスクール事業で授業を公開してくださった春日井市立藤山台小学校で行っていたスプレッドシートを活用した実践を先生方に紹介しました。その実践を本校の実態に合わせて少しアレンジし、できる場面で取り組んでいます。

4年生の算数科を例に説明します。「直方体と立方体」の単元の中で、展開図をかく学習があります。今回は、立方体の展開図のことを具体的に説明します。まず、**前時のふりかえりをもとに**、本時では立方体の展開図をかく活動を確認しました。その後、立方体の展開図は11種類あることを伝えました。その中で、子どもたちから「11種類、全部本当に立方体になるのかな？」という問いが出ました。「実際にそれをかいて、作って確認してみよう」というところで、本時の流れを子どもたちと確認しました。

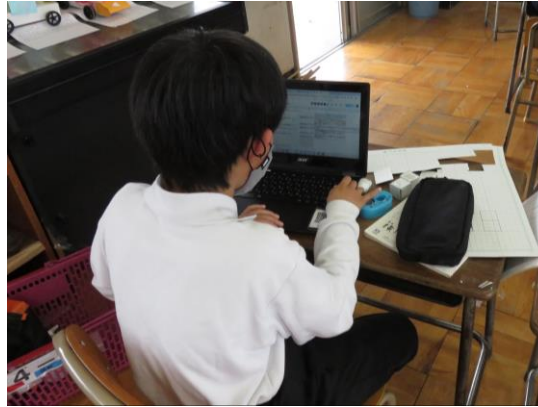


そして、本時の自分のめあてをそれぞれに考えさせ、スプレッドシートに入力させました。入力した子から、展開図をかきはじめます。**一人でする子、ペアでする子、グループでする子、また、別室での少人数学習で先生といっしょにしたい子とで分かれて活動がスタート**しました。黙々と進めていく子、友達と話し合いながら進めていく子、教科書の二次元コードを読み取って、動画でイメージをしながら進めていく子と、様々な学びの形がありました。



【取組内容①】 めあて・進捗状況・ふりかえりの共有を目的としたスプレッドシートの活用

今日のめあて	挑戦した展開	進捗状況	ふりかえり
欠席	欠席	今の達成度	欠席
立方体展開図を作れるようになる。	11、10、7、8、9、6	完成したよ	展開図で直方体をかいたときよりも上手く書くことができた。いろいろな形でも立方体を作れると分かった。
展開図の立方体を作ろう。	1、2	完成したよ	展開図は点線で書くことと普通に書いていたのが大分違った。
いろいろな立方体を作ろう	11	完成したよ	直方体は、普通に形を作ってテープをはるだけだったが立方体はそのままめると作りやすい。
いろいろな形でも立方体を作ってみよう。	11、10、5、1、7	完成したよ	面を一個一個切らずにできたので、とても便利でした。不思議に思ったことは、立方体はいろいろな形で作れることがわかりました。
立方体を展開図で書こう。	10	完成したよ	立方体の展開図を作るのは、点線をどこに打てばよいのかわかった。
展開図の立方体をいろいろなやり方で作ろう。	4、11	完成したよ	3cmのやつを作ったあとに5mmのやつを作りました。
展開図の立方体を書こう。			
	4.11.3	完成したよ	展開図を書いて気づいたことは、4と11と3はちゃんと3mmの立方体をつくといいことですね。最初はこんな形で作れるの？と思ったけど4と11と3は作れてびっくりした。もっと色々な展開図の立方体を作りたいです。点線を意識してかけました。
欠席	欠席	欠席	欠席
立方体の展開図をつくらう。	5、7、3	完成したよ	最初は、ほんとに全部立方体になるのかなと思ったけど、何個か作って全部できることがわかった。すぐ作りやすい。
いろいろなやり方で展開図の立方体を作ろう。	5、11	完成したよ	こんな形で作れるのかな？と思ったけど2個作ったら家で自分で作れることがわかった。
立方体を工夫して作ろう。	5	まだ完成してないよ	今日立方体お作て工夫してんさんと工夫して作りました。
立方体の展開図をすくきいれいにかこう。	11、4	完成したよ	作ってハサミで切っているときにハサミの向きを変えるのがやくなって失敗した。11番でやったらできて通うもやったらできた。
立方体を展開図で作って11種類のどれかで作ろう。	11	完成したよ	最初は、本当に自分の配った時間に間に合うか不安だったけどできた。最初、間違えて切ってしまったのは、多分ハサミのはが前に行き過ぎたからだと思ってる。
立方体の展開図をいろいろなかこう。	4、7	完成したよ	何番で立方体の展開図を書いても同じ形になることがわかった。11番の展開図を書こうとだけ練習してできませんでした。だから今度は、11番の立方体の展開図を作りました。
立方体はどんな形で作れるのかやってみよう。	6、10、10-6-11	完成したよ	何番で作っても立方体の展開図は作れることがわかった。(6、10、11、7)
11種類の展開図の一つを選んで立方体を作ろう。	10-6-11	完成したよ	展開図でかいたのは早くできるといいからできることがわかった。わたしは直方体より立方体のほうがかんたんだとおもった。
立方体の展開図の作り方を覚えて実際に作ろう。	六	完成したよ	展開図を工夫して作ることもできた。次は、一センチとか四センチとかの作り方をしてみたい。だいたいさんかんえやたらかんたんだは、一人で作ってほしい。
11種類の展開図のうち1つ選んで、立方体を作ろう。	3、10	完成したよ	友達と協力してつくることができました。あと1センチも作ることができました。
11種類の展開図の立方体を作ろう！	1	完成したよ	展開図で「1」でやったらけど、簡単かと思ったら少し難しかったとおもいました。ちっちゃければ小さいけど作るのがむずい。
展開図の立方体バージョンはこの11種類のどれかのしついに作ってみよう	7	完成したよ	折るのが難しくて嫌みだになったから実際に折るのときを覚えて11種類の立方体を作りたいです。
11種類の中から選んで、立方体の展開図を作ろう	1、8、10	完成したよ	前作った、直方体よりも立方体のほうが作りやすかった。
立方体を失敗なく作ろう	①	完成したよ	1cmの物も作れたんだけど、できなかつたらから、次はなにかを作るときにつくりたい。
【めあて】立方体の展開図を作ろう。	①	完成したよ	5つの面のどれかひとつの面をあげると作れることがわかった。直方体よりも立方体のほうが作りやすかった。
立方体をきれいに作ろう	1	完成したよ	ものさしではかるのがむずかしい
欠席	欠席	まだ完成してないよ	欠席
立方体の展開図をつくらう	1	完成したよ	1番展開図を使ってみて、書くのがすく間違えたりしたけれどむずかしかったです
立方体を上手作ろう！	2	完成したよ	間があいたけど、立方体の展開図をかくと、きれいに書けた。
立方体をきれいに作ろう	8-7	完成したよ	11種類の展開図の作る形があるからびっくりしました。やっぱり展開図は作るのが簡単でした。
立方体をたくさん作ろう。	8、10	完成したよ	立方体を作るのがむずかしかったけれど、友だちにおしえてもらったからできるようになった。
自分の選んだやりかたで展開図を書いて、立方体を作成せよう。	6、11、10	完成したよ	「これ本当に出来るの？」と思っていたものを作ると、立方体が出来たのでびっくりしました。あと展開図が裏側と裏側でできました。展開図が3つもかいて練習したかったです。
いろいろな種類がある立方体の展開図のかきかたを知ろう。	2、5	完成したよ	立方体の作り方は色々あると教科書に書いていけど、僕は全部の作り方で立方体を作れるかなと思ったけど、僕が作った2種類ができたから、全部できるんだとわかりました。
立方体の展開図をいろいろなかいてみよう。	①、②	完成したよ	立方体の展開図はいろいろあるから、もっとかいてみたい二つの展開図を書いてみたら、①の方が作りやすかったです。
色々なかたをサイコロの裏返し方を考えよう	11	完成したよ	最初に書くのがちょっと難しかったけど組み立てるのが簡単だった



スプレッドシートに「自分のめあて」「挑戦した立方体の形」「今の進捗状況」「ふりかえり」を随時入力しながら、子どもたちは活動を進めていきました。このように、学習進度に差が出そうな場面や活動がメインの授業で少しずつ、個別最適な学びと協働的な学びを往還する授業を行っています。

【今回のような形でスプレッドシートを活用することのよさ】

- めあてやふりかえりをお互いに共有しやすい。  
→お互いにふりかえりを読み合うことでさらに学びが深まる。  
→欠席していた子どもにも、後日共有することができる。
- 進捗状況を教師も、子どもたちも把握しやすい。  
→困っている子どもにも的確なフォローができる。
- 進度に差が出る活動でも、はやくできた子どもたちが何をすればいいか見通しをもちやすい。